



金沢文化服装学院

IF YOU LIKE IT, YOU CAN MAKE IT!

好きを 実力に。

好きなことなら、
誰にも負けないくらい
頑張れる。

夢を掴むために、
ファッションと向き合い
強い意志を持って
努力を重ねる。



ここからスタートしよう。
その覚悟を持ったあなたに
舞台は用意されています。

金沢文化服装学院は、
想像を表現するための
知識と技術を学ぶ
専門学校です。





CONTENTS

- 01 教育目標
- 05 学科紹介
- 07 アパレル造形デザイン科
- 15 ファッションビジネス科
- 23 就職
- 29 イベント
- 37 学外活動紹介
- 39 学院美・教員紹介
- 45 卒業生からのメッセージ
- 49 施設紹介
- 55 アクセス
- 57 カナブンライフスタイル
- 59 Q&A

EDUCATIONAL POLICY 教育目標

社会・企業から 歓迎される人財

金沢文化服装学院は一人でも多くの
「社会・企業から歓迎される人財」を
育成することを目指すファッションスクールです。

本校で学ぶ知識や技術を自分の強みに変え、
自発的に行動し、
まわりの人々と協調しながら
社会やお客様に貢献することで、
結果として自分の目標を達成できる人財。

私たちはみなさんに
そんな人財になって欲しいと強く願っています。

本校での学生生活は多くの驚きや感動、
様々なヒト・モノ・コトとの素敵な出会いの連続です。
そんな学生生活を思い切り楽しみながら、
どんな時代でも、どんな環境下でも、
力強く、前向きに生き抜いていける技や精神力を身に付け、
「好き」を「実力」にして、夢を実現させましょう!!





創立67年の伝統と実績

1955年に創立した本校は、時代の変化に合わせ、カリキュラム内容の充実をはかり、ファッション業界にたくさんのお優れた人材を送り出してきました。これまで培ってきた伝統と実績による豊富なカリキュラムや就職実績などは、ファッション業界から高い信頼を得ています。



講師はすべて現場経験者

本校の講師はそれぞれの業界で現場経験を3年以上積んでいるプロばかりです。そうしたプロでしか知り得ない業界の楽しさ・厳しさといった現場での経験を、学生に伝えることが次世代のファッション業界を支える人材育成の第一歩と考えています。



学生の心に火を点す

少人数のクラス編成で、各クラスにはマネージャー(担任)がつけます。各クラスマネージャーは毎日、学生情報を共有しているため、担当クラス以外の学生のことも理解しています。スタッフ全体で、一人の学生を見ていくようなイメージです。



SWOT TIME(努力の時間)制度

「もっとここが知りたい!」「まだここが理解できない!」といった学生に、講師がマンツーマンで対応(要予約)してくれる「SWOT TIME(努力の時間)制度」を採用しています。

あなたの“好き”という武器は 知識や技術で磨きをかける必要がある

本校にはファッション業界で活躍する人財を育成するための2つの学科があります。

各々の分野で、あなたの“好き”という武器を磨き上げて下さい。



取得目標資格

本校で学んだ専門知識や専門技術の実力を評価する検定試験が各種あります。

自分の目的・目標に合った検定を選び、チャレンジしましょう。

<p>リテールマーケティング検定 【日本商工会連合会】</p> <p>販売技術や接客技術はもちろん、在庫管理やマーケティング、労務・経営管理に至るまで、幅広く実践的な専門知識が身に付き、流通・小売分野で唯一の公的資格です。</p>	<p>F.S.A. Styling Map 検定 【日本ファッションスタイリスト協会】</p> <p>「スタイリング」を外見だけでなく、人の価値観や人生の豊かさにも関わる重要なものと位置づけ、人と物を分析すると同時に、人それぞれの「センス」を論理的に可視化するためのスタイリング理論の習得を目指す検定です。</p>	<p>ファッション販売能力検定 【一般財団法人日本ファッション教育振興協会】</p> <p>ファッション業界で販売に関わる分野を目指す方々に、販売実務に必要な知識・技術を身に付けてもらい、その実力をはかる検定です。</p>
<p>色彩検定 【文部科学省検定】</p> <p>ファッション、デザインなどに関連する仕事をする上で必要な、色彩に関する幅広い知識と応用力を証明する、就職にも有利な検定試験です。</p>	<p>パターンメイキング技術検定 【一般財団法人日本ファッション教育振興協会】</p> <p>アパレル業界で活躍するパタンナーに要求されるパターンメイキングの専門知識と技術の能力を、試験により評価・認定するものです。</p>	<p>専門士 【文部科学省検定】</p> <p>卒業と同時に付与</p> <p>専門学校の2年過程を終了すると「専門士」の称号が授与されます。本校の卒業生は、「服飾専門課程専門士」となります。</p>

WORK OF FASHION

ファッションの仕事

CREATE ファッションをつくる人

クリエイティブディレクター(CD)

ファッションデザインをメインに広告やショップ展開など、ブランドのイメージ戦略全般を手がけるクリエイターのこと。

マーチャンダイザー(MD)

ファッションを商品という視点から、トレンドや世の中の動きに合わせて、「売れるもの」を予測し、それに沿った商品を創り出す仕事。

ファッションデザイナー/企画

ブランドの競合またはディレクターの指示でデザインするなど内容は様々。大手企業ではMDの市場調査に基づいて、デザインすることが多い。

パタンナー

平面のデザインをもとに、服を立体にするための型紙(パターン)をつくる。服づくりのプロセスにおいて、デザインと同等の重要な仕事。

CAD / グレーダー

サイズに合わせた商品をつくるため、パターンをアレンジしていく仕事。知識、技術だけでなく、ソフトウェアを使いこなせるノウハウも必要。

生産管理

販売計画に基づき、生産能力を計算して、商品の製造までの一連の流れを管理する仕事。工場とのやりとりが多く、幅広い知識が求められる。

テーラー

オーダーメイドでテーラードジャケットやスーツ、シャツを仕立てる高度な技術を持つ職人的クリエイター。

コスチュームデザイナー

映画や舞台、ショーの衣装デザインなどを行う。確かな技術力、クライアントの作り上げたい世界観を読み解く理解力や発想力が要求される。

SELL ファッションを売る人

ファッションアドバイザー

店頭で接客する販売員で、一般的にはファッションアドバイザーと呼ばれる。お客さまの好みに合わせた商品選びや、トータルコーディネートを提供できることが重要になる。

バイヤー

主にセレクトショップや百貨店に所属して、さまざまな商品を買付けして販売する。世の中のニーズを把握し、売れる商品を仕入れるのが役割。流行に敏感な感性や売れるものを見極める目、的確な計算能力や交渉力などさまざまな能力が必要とされる。

ビジュアルマーチャンダイザー

店頭ディスプレイを中心に、服の並び方などショップをビジュアル面でサポートする。ビジュアルコーディネーターとも呼ばれる。

営業/セールス

ビジネス側の全てに関わる仕事。ショップのバイヤーと連携したり、新たな卸し先を開拓する。取引先や顧客が求めるアイテムをクリエイティブ部門のスタッフに伝え、商品企画に反映させる役割も担う。

APPEAL 魅力を伝える人

プレス

ブランドの広報、宣伝を手がける。プレスとは本来、報道機関のジャーナリストや記者など、取材する側を指す言葉。正しくは「プレス関係者」「プレス係」と呼ぶ。

スタイリスト

雑誌、広告、映画など、クライアントから提示されたテーマやコンセプトに合った服を選び、ビジュアルをつくる。多くのスタイリストはタレント、モデル、ミュージシャンなどが仕事のメインだが、個人をスタイリングするパーソナルスタイリストやショップスタイリストとして活躍する人もいる。

エディター

ファッション雑誌や本、Webなど、誌面の企画とディレクションを行う。取材から原稿執筆など仕事内容は多岐に渡る。

モデル

ファッションを生み出すデザイナーの希望に応じて理想の姿を表現する。近年はモデル自身が服をデザインするなど、仕事の幅が広がっている。



APPAREL CREATIVE DESIGN

アパレル造形デザイン科

3年制

パタンナーやデザイナーに必要不可欠となる
豊かなデザイン力や企画力などをトータルに学び、
ファッション業界で活躍するクリエイターを育成します。



OVERVIEW 学科について

服づくりにおいてパターンの技術は大変重要です。学生のニーズに合わせて、企業でもフリーランスでも活躍できるように、デザインだけでなくパターン教育にも力を入れ、想像をしっかりとカタチにできるクリエイターを育成します。また、クリエイティビティあふれるデザイン力と創造力を養うためにアートにも触れ、美しいシルエットやバランスも考察できるように学んでいきます。3年間を通してデザイン、パターン(平面製図・立体裁断)、縫製に特化して学んでいくのが特徴です。



WE LEARN

基本技術を習得し、クリエイターとしてのプロの感性を身に付ける



商品企画

企業デザイナーの仕事を知り、マーチャライジングの流れを体験しながらオリジナルのコレクションを作ります。企業が実際に使用する企画書を用いてブランドコンセプトの立案、ターゲットの設定、顧客心理などを確認しています。作品にデザインを落とし込むまでの過程を、理論的に考えながらも各自の個性を表現することを学びます。



パターンメイキング

工業用ボディを使った既製服生産に用いられる製図方法です。生産性の高いパターンメイキングテクニックの基本をドラフティング(平面製図)やドレーピング(立体製図)などの技法で学びます。



立体裁断

平面製図で練習済みの製図を、ボディに直接シーチングを当て、立体という別の視点から製図を理解していきます。基本的なアイテムから独創的な作品まで、多様に活かせる技術習得します。



アパレルCAD

基本的な平面製図を学び、手書きのパターンメイキングを理解した上で学ぶのがCADの授業です。製図をパソコンに入力、データ化し展開・縫い代付け・マーキングをしてグレーディングなどの機能や、オペレーションテクニックと理論を実習を通して学びます。CADを使いこなすことができれば必然的に就職活動に大きなプラスとなります。

CURRICULUM

カリキュラム紹介

1年

アパレルメーキングI	パターンメーキングI
ファッションリソース	デザイン画I
色彩	素材論
部分縫いI	デザインPC

1年次では平面製図によるパターン制作、人体に合わせた修正や素材別の縫製など服飾造形を中心に、立体構成の基本原則とデザイン表現の基本技法をマスターしながら、ファッションクリエイターとして必要な専門知識とプロとしての感性・感覚を養います。

2年

アパレルメーキングII	パターンメーキングII
立体裁断I	デザイン画II
アパレルCAD1	メンズ
デザインPC	成服作品制作

2年次では平面による裁断理論を立体裁断の実習と合わせて、商品化を重視したパターン制作技術の向上を図るとともにデザイン発想を強化して柔軟な発想力とハイセンスな感性を養います。

3年

アパレルメーキングIII	パターンメーキングIII
立体裁断II	アパレルCADE
実学実務プロジェクト	デザインPC
キャリアプランニング	卒業作品制作

3年次は今までの学びを更に深く突き詰めるためにCADを使用したり、工場への発注書作成を行いオリジナルアイテムの製造を工場に実際に発注したりします。また手縫いによるオートクチュールのスキルも学びこれまで以上に完成度の高い作品づくりを行います。

CREATION

学生の作品紹介

至上主義

「自分とは」をコンセプトに、私の人生の課題である「自己肯定感」や「自信」を“タコ”に詰め込み表現しました。他人の目に誇られていた過去を振り払い、自分にしかない個性を糧に未来へ大きく輝いていきたい、沢山の人の支えてもらったからこそ唯一無二の自分を大切にしたい、という想いを込め、制作しました。

扱い付き服とは逆に、フリルで飾られた想いを振り払っている様子表現しました。そしてビーズを使用し、ビーズの反射して光る様子から「未来への輝き」「自分の魅力」を表しています。ワンピースの形をシャーリングで裾を絞め、丸くボリュームのあるデザインにし、Aラインから少し形を変え、唯一無二を表現。未来の表現は、ビーズの沢山ついたタコの足を裾から飛び出させることで「未来へ大きく輝きたい」という気持ちを表しています。



館田 琴叶 Kotoka Noda
アパレル造形デザイン科2年
小松市立高等学校出身



STUDENTS VOICE

学生からのメッセージ



中島 ナオミ Naomi Nakashima
アパレル造形デザイン科3年
福井県立武生商業高等学校出身



なりたい自分になる

私は入学前から「作ること」が好きだったので、パターンと縫製の時間が特に好きです。2年次に行った物販イベントでは、実際に自分が一から制作したお洋服を、お客様に買っていただけたときはとても嬉しく、今後のモチベーションに繋がりました。

カナブンではただ作るだけでなく、自分の作ったものがどのようにお客様の手が届くのか、ということまで先生方にご指導いただけるので、日に日に出来ることが増えていて、自分にとって成長出来る場所だと実感しています。

私は将来自分のお店を開きたいと考えています。セレクト商品以外に、自分のオリジナル商品も販売したいので、制作の裏れを知ることほもちろんですが、お客様が求めるものを知り、お客様のことを考えたモノづくりを今後の制作でも意識していきたいと思っています。



土井 至悠来 Ayura Doi
アパレル造形デザイン科3年
富山第一高等学校出身



自分を高める場所

私は実家が旅館ということもあり家が身近にある環境で育ちました。その影響から、服作りを一から学びたいと思い、数ある服飾専門学校の中から金沢文化服装学院への入学を決めました。入学の決め手となったのはオープンキャンパスに参加した際、学校の設備の良さと少人数制であるからこそ教員との距離が近く、学生一人一人に対して指導をしっかりともらえると感じたからです。

私は将来ファッションデザイナーを目指しています。デザイン画を毎日描く目標を立て、授業内で分からないことは教員に質問して深く理解をするようにし、少しずつ知識や実力を付けていけるように頑張っています。また、クラスメイトとお互いに教え合い、競い合うことでさらに上を目指していきたいと思っています。



田村 吹妃 Fubuki Tamura
アパレル造形デザイン科3年
金沢高等学校出身



若林 もえ Moe Wakabayashi
アパレル造形デザイン科2年
北野学院高等学校出身



夢に向かって

私が入学を決めた理由は、高校生の頃からファッションに興味があり、オープンキャンパスに参加した際、少人数制で先生と学生の距離が近く、ここだったら多くのことをしっかりと学べると思ったからです。学校では、今まで出会ったことのない考え方やファッションセンスの交流ができて、とても楽しい毎日を送っています。

2年次にトワリストコンテストに参加した際、他校の学生の高い技術を目の当たりにし、自分の今の実力を再確認することが出来ました。とても悔しい思いをしたので、今年もコンテストに参加するために今からコツコツ準備をしています!!

将来私はパタンナーになりたいと思っています。そのために色々な服のディテールを意識してたくさん見るようにして、これからも自分の引き出しを増やしていきたいと思います!

夢への第一歩

私が金沢文化服装学院に入学を決めた理由は高校生の時にオープンキャンパスに参加して、少人数制で授業も服装も一人ひとりしっかりとサポートして下さると思ったからです。また、制作中に中々上手くできない私に、先輩や教員の方々が優しく丁寧に教えて下さり、私もカナブンで夢に向かって頑張りたいと思いました。入学してからは、ファッションショーや作品展示など、様々なイベントを通して貴重な経験ができて毎日ワクワクしてすごく楽しいです。

私は将来企業職に就きたいと考えています。そのために、日々の授業も大切ですが自ら進んで企業調べや市場調査をしたいです。これからもカナブンで過ごす時間を大切にして夢を叶えることができるように努力を重ねていきたいです。

SCHOOL LIFE

スクールライフ！
学生の1日の過ごし方をレポート



梶原 古都美 Kotomi Kajihara
アパレル造形デザイン科2年
舞台芸術高等学校出身



愛情のある天真爛漫な笑顔と周りの人たちに気配りが出来る優し
しの存在！何事も真剣に取り組
む姿はクラスメイトや先生たち
にも一目置かれています。
校内のイベントやモデルとして
も活躍するムードメーカー！



09:15 登校

徒歩で登校しています。
学校に着いたら元気な挨拶を心がけています。



09:30 授業【パターンメイキング】

考えて、計算して、思い通りのシルエットになるように頑張っていきます!!



12:20 昼食

午後からの授業も全力で頑張るためにエネルギーチャージをします!!



13:20 授業【アパレルメイキング】

美しく綺麗なトータルを目指して、先生方からレクチャーしていただくテクニックを実践しています。



16:30 SWOT TIME

放課後に授業で分からなかったところを先生方から指導していただけるので成長を実感できます。



18:00 帰宅

友達と楽しく帰りながら帰っています。明日の学校も楽しみです!!

FASHION BUSINESS

ファッションビジネス科

2年制

ファッションアドバイザーに必要な、ビジネス、ファッション販売、トータルコーディネートなどの基礎を学び、ファッション小売業界の最先端で活躍するプロフェッショナルの育成を目指します。



OVERVIEW 学科について

ファッションは生鮮食品と一緒に“鮮度”や“旬”が命。また、ファッション業界の仕事は「他人—お客様」の人生をより素敵に演出する、自分の“好き”なことで誰かの役に立てる素晴らしい仕事です。2年間を通して、接客・販売、マーケティング、マーチャンダイジング、マネジメントについて、幅広く学んでいくのが当科の特徴。お客様の顕在的な欲求に応えながらも、潜在的な欲求を引き出せるようなスキルを様々なワークを通して磨いていきます。そして、即戦力となれる、知識・技術・人間性を有し、服だけでなくメイク・ネイルを含むトータルで消費者に最新のファッションを提案できる人材を目指します。



WE LEARN ファッションについてトータルに学ぶ



ファッションビジネス概論

1年次においてファッションビジネス、マーケティング、セールスプロモーションの基本を学びます。2年次では、1年次で修得した基礎知識を応用し、より深く広くファッション業界の知識を理解しています。



リテールビジネスプランニング

自分が立ち上げたいショップを作るための事業計画書を作成します。マーケティング、ビジネスプランの作成を通して、説明やプレゼン能力の技術を高めています。日本政策金融公庫の融資担当者によるプレゼンテーションを行い評価していただくことで自信を付けることができます。



スタイリストワーク

コーディネート基礎を学び、オリジナルのコーディネート企画。服だけでなく、ヘアメイク、ネイル、アクセサリーなど今まで学んだスキルを活かしながらトータルコーディネートしたものを写真撮影し、編集して作品に仕上げています。



セールスワーク

売り場で即戦力として活躍できるよう、接客・販売のロールプレイングを繰り返し行っています。店員経験のある教員が、マンツーマンでプロの販売スキルを教えるのでしっかり身に付きます。

CURRICULUM

カリキュラム紹介

1年

ファッションビジネス概論	セールスワークI
スタイリストワークI	ファッション販売I
アパレルメーカーI	ファッションリソース
色彩	素材論
ソーイング基礎	デザインPCI

ファッションの総合的な基礎知識と商品の生産、流通、販売、消費などファッション業界全体のシステムと各業種の構造や役割、ファッションビジネス業務の基本などを学び、同時にスタイリングに必要なセンスを養います。

2年

リテールビジネスプランニング	セールスワークII
スタイリストワークII	ネイル・メイク
英会話	ヘア
デザインPCIII	リテールマーケティング検定
キャリアプランニング	卒業作品制作

1年次に学んだファッションの総合的な基礎知識を2年次ではそれぞれ更に深く掘り下げて学んでいます。ファッションショーや物販イベントの企画・運営を通じ、ファッションビジネスで新たなビジネスを創出する力を養います。また、イベントや授業、インターンなどを通して、スタイリングの提案力、発信力を身に付けます。

CREATION

学生の作品紹介

energy

この作品のコンセプトは「エネルギー」です。道徳作品のテーマである「私にとってファッションとは」を考えた時に、エネルギーは人が生きていく上で必要不可欠なものであり、ファッションもそれと同じく私が生きていく上で必要不可欠なものだと考えました。

一枚のローブを身体に見立て、エネルギー源となるエネルギーをたくさんの色の生地を縫うことで、いろいろなエネルギーが詰まりあってできている様子を表現しました。肩にかけてあるベストに赤を多く取り入れることで、力強く、エネルギーに満ち溢れた雰囲気を実現したところもポイントです。この作品を見て下さった方に、ファッションが持つエネルギーを少しでも感じていただけたら嬉しいです。



青池 璃子 Riko Aoi
ファッションビジネス科2年
福井県立美加高等学校出身



STUDENTS VOICE 学生からのメッセージ



宮下 麗桜 Rion Miyashita
ファッションビジネス科2年
福井県立科学技術高等学校出身



渡辺 涼音 Suzune Watanabe
ファッションビジネス科2年
富山県立富山商業高等学校出身



成長できる場所

私は将来洋服に関わる仕事に就きたいと思っていたので、立地や設備も良く、洋服の知識を深められ、少人数制で先生方から手厚いご指導を受けることができると思い、全沢文化服飾学院を選びました。

入学して良かったことは、刺激し合える、クラスメイトと出会えたことや、現場経験のある先生方から学べるので、より現場に近い内容を身につけることができることです。

私は卒業後、好きなブランドの販売員としてお客様に感動していただける接客をするために、日々の授業でより多くの知識を吸収していきたいです。

夢に向かって

私がカナブンに入学した理由は、オープンキャンパスに参加した時の雰囲気良さや、少人数制で先生との距離が近いという所に魅力を感じたからです。

入学して良かったことは、色々な人との出会いがあることです。個性の強いクラスメイト達から刺激をももらったり、先生方から授業外でもアドバイスをいただいたりと、充実した日々を過ごしています。私の将来の夢は、沢山の人が応援され、「また、あなたと仕事がしたい!」と思ってもらえるスタイリストになることです。実際にカナブンで得た人脈を活かして、スタイリストのインターンシップにも積極的に参加しています。これからも人との出会いを大切に、日々夢に向かって前進し続けたいです!!



碓山 友菜 Yuna Ikariyama
ファッションビジネス科2年
石川県立石井高等学校出身



夢を叶える場所

私は、小さい頃から洋服が大好きで、アパレル関係の仕事に就きたいと思っていました。進学先を探す中で、カナブンの存在を知り、少人数制で教員の方との距離が近く、深く学べるということに魅力を感じて入学を決めました。

学校の授業は、アパレルに就職した時に役立つ、技術や知識、世の中のことを知ることができ、とても勉強になっています。沢山の人も出会えて、新しい発見があり、楽しく充実した日々を過ごしています。

将来は、古着屋で販売員、バイヤーとして働きたいと思っています。ヴィンテージ古着の知識を得て、その魅力をお客様に伝えたいです。



新田 健人 Kento Nitta
ファッションビジネス科2年
小牧大谷高等学校出身



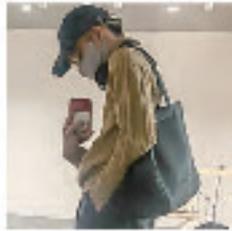
自分が成長できる場所

私がカナブンに入学した理由は、実家から通えることと、少人数制という環境で、先生方との距離が近く1人1人に合った指導を受けられることが出来るという点に魅力を感じたからです。カナブンに入学して良かったことは、自分自身の考えを持つことが出来るようになったことです。授業の分からないところはもちろん、進路の相談など、普段の生活の中で、疑問点や不安な点を聞きやすい環境下にあること、そしてファッション業界の現場で経験を積んだ方たちばかりなので、とても詳しく的確なアドバイスを貰え、日々自分が成長出来ていると感じています。

私は将来は営業職に就きたいと思っています。学校で学べる知識は勿論、コミュニケーション能力がとても大事だと思うので、カナブンでの学校生活を活かして色々な人との関わりを大切にしていこうと思っています。

SCHOOL LIFE

スクールライフ！
学生の1日の過ごし方をレポート



率先して前に立ち、時にはサポート役に徹し、みんなを引っ張るリーダー的な存在。全てに誠実に、熱意を持って取り組む姿勢は学内でもNO.1！



舟田 遥己 Haruki Funada
ファッションビジネス科2年
石川県立松任高等学校出身



09:15 登校

整町ストリートはオシャレなショップが多いので、お店を見ながら登校しています。



09:30 授業【セールスワーク】

商品知識や接客スキルを身につけるために特に頑張っている授業です！



12:20 昼食

友達とお菓子を食ったり、ゲームをしたりして過ごしています。



13:20 授業【デザインPC】

フォトショップやイラストレーターなど、PCの知識を多く学べて楽しいです。



16:30 SWOT TIME

授業内で終わらなかった課題を進めたり、マネージャーに分からないことなどを相談したりしています。



18:00 帰宅

今日あったことなどを友達と話しながら帰っています。

CAREER 就職

一人ひとりを全力でサポート

就職活動は個人戦です。

適正の確認や目標の設定、

なによりも自分の努力次第で結果が変わります。

少人数だからこそ学生一人ひとりを

しっかりと把握し、

希望する就職を実現するために

全力でサポートします。

2021年度 各学科就職実績

本校の卒業生に対するファッション業界からの信頼度はたいへん高く、数多くの先輩達がプロとして第一線で活躍しています。これは創立以来の伝統と実績、そして先輩一人ひとりのファッションへの情熱や誠実で確かな仕事ぶりが評価された結果です。

	服飾造形	流通ビジネス
卒業生数	12	11
就職希望者数	12	11
内定者数	12	11
(北陸3県)	7	9
(首都圏その他)	5	2
希望者就職率	100%	100%



アパレル造形デザイン科
(服飾造形)



ファッションビジネス科
(流通ビジネス)

キャリアプランニング/就職活動

一人ひとりに合わせて就職活動をサポート。



就職を見据えた教育

各分野にて最先端で活躍するプロを育てるため、現場経験を積んだスタッフが実践的な教育を行っています。また、1年次より業界の基礎知識や働き方を学べるよう、企業訪問やインターンシップ、業界にて活躍している特別講師を用いた講習会の開催などを行っています。



就職活動を全力でサポート

キャリアプランニングデスク(就職指導部)と各クラス担任が連携をとり、学生生活から進路指導までもしっかりとサポート。就職活動に関するアドバイスはもちろん、エントリーシートや履歴書などの書類作成支援、模擬面接なども行っています。学生一人ひとりの意図をしっかりと把握し、進路指導を行います。

就職支援スケジュール

必要に応じて個別面談を随時実施するなど、一人ひとりに合わせたきめ細かな支援を行います。

インターンシップ実績

就労体験を目的とし、アパレル企業の現場を体験する機会を設けています。

学年	月	実施内容	
在学年次	4月	就職希望調査 就活トライアル 就職活動講習 業界企業研究 校内企業説明会	
	5月	産地研修 校内企業説明会	
	6月	校内企業説明会	
	7月	就職企業研究	
	9月	就職百談	
	12月	就職活動講習	
	2月	進級判定	
	3月	履歴書作成講習	
	卒業年次	4月	書類作成講習 面接講習 就職百談 首都圏企業就職試験会場 校内企業説明会
		5月	産地研修 校内企業説明会
6月		校内企業説明会	
7月		就職活動講習	
9月		北陸圏内企業就職試験会場	
12月		就職活動講習	
2月		卒業判定	
3月		卒業	

研修先 / 研修内容
㈱アーバンリサーチ / 店頭販売業務研修
㈱アダストリア / 店頭販売業務研修
㈱アルディム / 撮影アシスタント、生産アシスタント
WEWILL / ショー運営サポート
THEATER PRODUCTS / プラスアシスタント、生産アシスタント
㈱ストライプインターナショナル / 店頭販売業務研修
SOMA DESIGN / 生産アシスタント
ディーゼルジャパン㈱ / 店頭販売業務研修
㈱ナカノアパレル / 工場ライン研修
ハナエモリ マニユスクリ / 生産アシスタント
㈱バル / 店頭販売業務研修
HISUI / 生産アシスタント、展示会運営サポート
㈱ロビンインターナショナル / スタイリストアシスタント
㈱ワールドストアパートナーズ / 店頭販売業務研修

INTERVIEW STUDENTS インタビュー

内定者に将来について聞きました！

アパレル造形デザイン科



金子 恵斗 Keiko Kaneko
石川県立大聖寺実業高等学校出身

株式会社シップス

総合職

社会人として

まず入社してからは、1人の社会人としての自覚を持って何事にも取り組んでいきたいと思っています。そしてカナブンでの日々の生活や接客のアルバイトで学んだことをこれからの仕事の様々な場面で活かし、積極的に日々の業務に取り組んでいきたいです。また、これから自分が接客を通して関わっていく色々なお客様に対し、どんな方にも記憶に残るくらいの満足いく時間を過ごしてもらえよう、日々の自分の行動に対してしっかりと考えを持って取り組み、お客様に共感と感動を送り届けられる人材になりたいと思っています。

これから仕事をしていく上で、大変なこともあるとは思いますが、初心を忘れず洋服を介してお客様と繋がっていきける時間を常に大切にできる人になれるよう日々精進しています。

株式会社UJOH

デザイン、パターンアシスタント

人としての成長

身近な目標として、基本的な業務から会社の方針を身につけていき、地に足を付けて成長して、UJOHの名に恥じない人になることです。

学業やインターンなど様々な活動を通して、デザイナー、パタンナーとしての技術、また、人としてまだまだ未熟な部分があると実感することが出来ました。入社してからは、一つひとつの業務に対してしっかり考えて取り組み、それらを蓄積していくことで任せてもらえる仕事の幅を広げていき、組織の中で頼れる存在になりたいと思っています。

また、デザイン、パターンの業務はもちろんですが、取引先とのやり取りや商品の検品、コレクションなど、様々な経験を通していただける環境ですので、技術面だけでなく人間性も育みながら、毎日気を引き締めて仕事に努めていきたいです。



淡原 奨平 Shoshei Awara
金沢高等学校出身

株式会社ミヤモリ
商品企画職

世界と向き合い、お客様のニーズに応えられる服を作りたいです!!



小川 陽菜
Hina Ogawa
富山県立水鏡高等学校出身

株式会社アンビデックス
販売

職責にとらわれず、いろんなことに挑戦したいです。



柴田 和紀子
Wakiko Shibata
富山県立高岡高等学校出身

カイハラ産業株式会社
製造スタッフ

世界で売れるデニムに携わりたいです!



北八 大星
Yisaei Katsuhoshi
石川県立工部高等学校出身

株式会社カメダ
企画職

どんなデザインでも形にできるようなパタンナーになります!



石橋 裕美
Yumi Ishibashi
富山県立富山高等学校出身

株式会社チュチュアンナ
店舗管理職

世界中の女性を笑顔にさせる商品を提供したいです。



森澤 愛
A. Morisawa
石川県立金沢朝日丘高等学校出身

JOB

過去の就職内定先

卒業生の多くはパタンナーやデザインはもちろん、企画職や営業、CADオペレーターとしてファッション業界で活躍しています。

株式会社アバハウスインターナショナル
株式会社アンビデックス
株式会社UJOH
株式会社ハニーズホールディングス
株式会社オリジナー・クロスジャカード
株式会社オンワード樺山

カイハラ産業株式会社
株式会社シップス
株式会社カメダ
株式会社クマモトニット
株式会社ゴールドウイン
株式会社ストライプインターナショナル

株式会社チュチュアンナ
ディーゼルジャパン株式会社
株式会社ナカノアパレル
株式会社ミヤモリ
株式会社モンスター
株式会社ヤギコーポレーション

他 ※順不同



高倉 祐乃 Yuuna Takakura
富山県立富山南高等学校出身

トリーバーチ・ジャパン 株式会社

販売

向上心を持って

私は、入学当初からラグジュアリーブランドに入りたいという思いがあり、トリーバーチ・ジャパン株式会社を志望しました。自分のこれまでを振り返り、なぜファッションが好きなのか?や、自分が会社で働く時に活かせることは何か?など、自分自身をよく理解して面接に臨みました。そして、ファッションと接客が好きという気持ちを強く持ち、心を込めてお話しした結果、内定をいただくことができました。入社後は、向上心を常に持ち、多くのお客様を幸せにできる販売員になりたいと思っています。そして、常に販売員としてファッションが好きという気持ちを忘れず、「この人になりたいになりたい!」と思ってもらえるような、ブランドの顔として誇りを持てる販売員になりたいです。

株式会社 トゥモローランド

総合職

お客様に寄り添う 接客を

私は入学当初からセレクトショップに強い憧れがありました。様々な企業を見の中で、やりたいことにチャレンジできる会社で、お客様により質の高い服を提供し、お客様に寄り添う接客をするトゥモローランドに魅力を感じ、入社を希望するようになりました。面接では誰にも負けない洋服への熱意とそこから生まれた向上心で学校生活の様々な企業にチャレンジしたことを伝えるようにしたところ、驚かれてトゥモローランドの内定をいただくことが出来ました。4月から販売員として、現場でお客様に洋服の魅力伝えることはもちろん自分磨きを頑張りたい、人として成長できればと思います。



鶴見 香純 Karin Tsurumi
近畿大学高等学校出身



オンヨネ株式会社
企画職

大好きなスノーボードに携わる仕事に就いたので、カナブンで学んだことを活かして頑張ります。

中出 翔雷
Ryo Nakada
石川県立小松山高等学校出身

**株式会社ストライプ
インターナショナル**
総合職

たくさんの方に笑顔をお届けできる販売員を目指します！



島田 怜奈
Rina Shimada
富山県立高岡工業高等学校出身



株式会社パル
総合職

お客様に素敵な時間を提供するとともに、私もスキルアップをして夢を叶えたいです。

中川 由梨佳
Yuzuki Nakagawa
石川県立寺井高等学校出身



**株式会社
YAMADAYA**
販売職

将来はファッションの魅力を発信するプレスになりたいです。

澤倉 彩華
Sayaka Sawa
小松市立高等学校出身

103

過去の就職内定先

卒業生の多くはプレスやバイヤーはもちろん、ファッションアドバイザーや商品企画、ショップ経営者としてファッション業界で活躍しています。

トリーバーチ・ジャパン ㈱
㈱トゥモローランド
㈱ユナイテッドアローズ
㈱パル
㈱ストライプインターナショナル
㈱ロビン・インターナショナル

㈱マッシュホールディングス
㈱ローラデックス
㈱ナイスクラブ
㈱オンワード樺山
㈱ジュン
㈱ブランシェス

㈱ヨウジヤマモト
㈱アダストリア
オンヨネ ㈱
中伍毛織 ㈱

他 39 社不同

EVENT 年間行事

入学式



ドキドキの入学式。みんなオシャレでびっくり!!

球技大会

ユニフォーム決戦も
盛りだくさん!!



バスケットボール対戦で戦って観戦も盛りだくさん!!
クラスメイトの新たな一面を発見?!

4月

入学式、前期開始
オリエンテーション
就職ガイダンス
健康診断

5月

球技大会
単位交換制インターン
北陸産地研修
就職個人相談会
BUNKAの春フェス

6月

パターンメイキング
技術検定(筆記)
ファッションビジネス
能力検定(実地)

7月

前期試験
前期水曜集会
ファッション販売
能力検定(実地)
夏期休暇
サマースクールI

8月

JAFIC インターン
夏期集中講座
サマースクールII

9月

後期開始
パターンメイキング
技術検定(実地)

北陸産地研修



実は北陸は一大繊維産地なんです!みんなでバスに乗って地元の産地や企業を見学しに出発!!

サマースクール



サマースクールは学生のPOP UP SHOP やファッションショーが楽しめる夏の大きなイベント!みんなで協力して一から作り上げるファッションショーは必見です!ヘアメイクや演出・音響にもこだわっています!!

研修旅行



アパレル企業の本社を見学させていただいたり、東京コレクションのショーを見に行ったりと普段体験できないことばかり!!

BUNKA FASHION RENAISSANCE

(卒業・進級作品展示会)



卒業進級作品の展示会&ファッションショーを行う BFR は、これまで学んできたことの最大成として作品を展示・発表する金沢文化服装学院の最大イベント!! 全校一丸となって観みます。

10月 11月 12月 1月 2月 3月

新入生課費交付開始
開校研修
教員認定講習会 (1)

色彩検定
教員認定講習会 (1)
カナブン祭

ファッション販売
能力検定 (冬期)
中間報告会
冬期休暇
海外研修旅行

卒業検定
学年末試験

針供養
卒業・進級試験
BUNKA FASHION
RENAISSANCE
(卒業・進級作品展示会)
成果報告会

卒業式
春期休暇

カナブン祭

学生がフルパワーで活躍!



カナブン祭は金沢文化服装学院の文化祭! フードやワークショップ、ファッションショーやフリマなど、みんなでわいわい盛り上げます♪

卒業式



これまでの学生生活の思い出が次々によみがえるー!
お世話になった先生や友達、みんなバラバラになるのは寂しいけれどまた会う日まで。

BUNKA FASHION RENAISSANCE

ブンカ・ファッション・ルネサンス

卒業進級作品展示会 公開プレゼンテーション ファッションショー

BUNKA FASHIONルネサンスは卒業
年次生が中心となり、これまでの「学び」
の集大成として制作した作品を展示・発
表する本校主催のイベントです。企画・
制作・演出・構成・ヘアメイク・モデル
など全てを学生が手がけます。



会場は金沢の中心に位置するHARMONIEおよび
金沢21世紀美術館の2会場にて開催。

卒業作品展

ファッションビジネス科2年

コンセプト立案から商品のデザイン、縫製、売り場レイアウトまで学生が一
から企画したPOP UP SHOP「Drop」を10月に8日間、2月に4日間限定
で開催しました。期間中、延べ1000人以上を動員し、たくさんのお客様に
商品を手にとっていただくことができました。



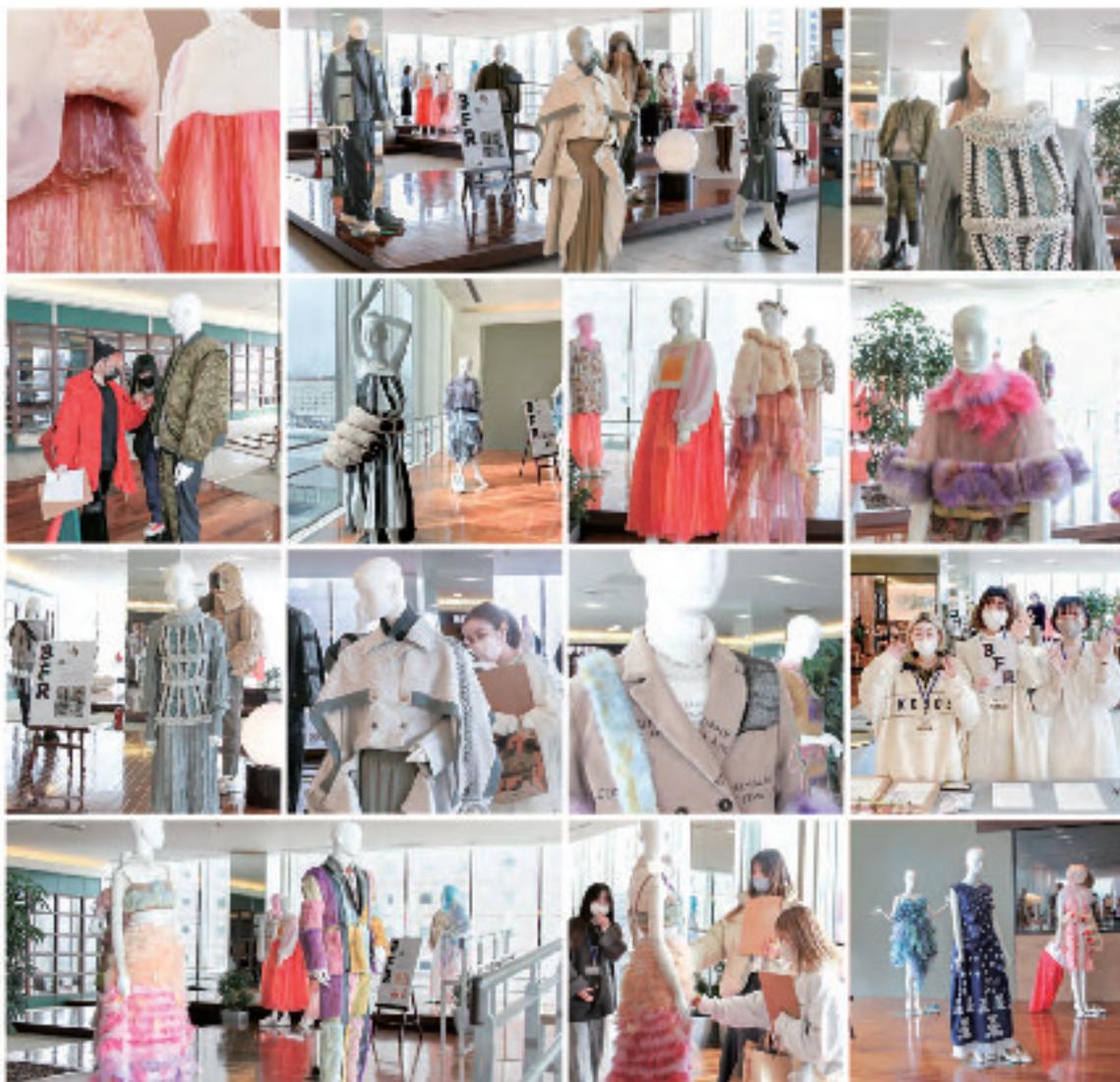


卒業作品展

アパレル造形デザイン科3年

今年の大テーマである「AKERU」を4つのチームがそれぞれの解釈で捉え、コンセプト立案からデザイン、縫製まで行った作品を金沢フォーラス6階KUUGOスクエアにて展示。公開プレゼンテーションを金沢21世紀美術館シアター21にて行いました。





表彰式

ファッション業界からお招きした審査員の前で「Umoro」、「Snuggle」、「Brave」、「UD」の4つのチームがそれぞれの作品のプレゼンテーションを実施。コンセプトの整合性や、デジタルポートフォリオ、動画の創造性などを審査していただき、見事「UD」がグランプリに輝きました。デザイナーの3名には賞金の他、本校次年度パンフレットの表紙を飾る権利が贈られました。



進級作品展

アパレル造形デザイン科 2年

[2022 spring new trends collections]

主要アパレル企業のマーケットリサーチ結果を基にマーチャンダイジングを実施し、コンセプト立案から縫製まで一貫して手掛けたオリジナルコレクションの展示・販売を行いました。



【SHINKA】

大テーマ「AKERU」を「新たなスタート」と捉え、各自のデザインテーマを設定した立体裁断作品を展示。春の喜び、フレッシュでエネルギッシュなデザインを立体裁断で表現した作品の展示と、スプリングスクールに合わせてファッションショーを行いました。



進級作品展

アパレル造形デザイン科 1年

[BATON]

学生が各々自身の過去を振り返り、それらによって形成された「現在の自分」から未来の自分に手渡したい想いを [BATON] として制作した白いワンピースの展示を行いました。



進級作品展

ファッションビジネス科 1年

[word robe]

私にとってファッションとは何かを、学生17人がそれぞれ土台となる白いrobeに落とし込み、さまざまな加工を施し制作した作品を展示。最終日にはファッションショーを行いました。



ACTIVITY 学外活動紹介

学びのフィールドは 学外に広がっています

県内外問わず、各公共機関や団体・企業の方々から
様々なコラボレーションの要請や
依頼をいただく機会が増えています。
本校学生はそうした多くの方々との交流や協働作業を通して、
人間的にも技術的にもたくさんの方を学んでいます。

PALCUP2021にて

準グランプリ賞を受賞！



ファッションビジネス科 中川由梨佳さん(石川県の専門学校出身)がPALCUP2021に出場し、服飾専門学校に通う優秀12名の出場者の中から6名準準グランプリ賞に選ばれました!! PALCUPとは販売のプロを目指す学生の支援育成や、学生の接客店対技術向上を目的としたコンテストです。例年は審査員の前での接客ロールプレイングでしたが、今回はコロナウイルス感染拡大防止の為、接客演技を収録し、後日審査員が撮影動画を審査するというかたちで開催されました。大会出場に向けて、授業や放課後の練習を繰り返し、しっかりとお客様のニーズを聞き出し、落ち着いた接客をした結果、真準入賞となりました!おめでとうございます!!



香林坊大和×金沢文化服装学院

「香林坊大和×金沢文化服装学院 2021秋の新作ファッションショー」が香林坊大和アトリオステージにて開催されました！
 「日常で気分が上がる」今シーズンの秋をトレンドを取り入れた最新ファッションを香林坊大和の2～4階インショップ14ブランドからご紹介する第一部と、ファッションビジネス科2年生のPOP UP SHOP「Drop」の商品を紹介する二部構成で行われ、音響はKist金沢科学技術大学の学生さんにご協力いただき、モデルは本校学生が務めました。



JAPAN CREATION

鹿野半島の真ん中に位置する織物のまち、中野登町にある織物業者を中心とした団体「テクシる」が開発した新素材をJAPAN CREATION(JC)で発表するにあわせて、アパレル造形デザイン科3年生が同素材を使用した作品を企画しました。デザイン画を含む企画案コンペティションの後、3作品に絞り、福井県越前市にある縫製工場、器モンスターに作品を制作していただきました。選ばれた3人は東京国際フォーラムで開催されたJCに参加し、現地で来場した各社バイヤー等の接客を体験しました。



トワリスト出品

第19回文化服装学院ファッションコンテストの「技術部門トワリスト」に、アパレル造形デザイン科2年生の近岡麗さん(福井県立福井商業高等学校出身)と田村咲妃さん(金沢高等学校出身)が出場しました！文化服装学院ファッションコンテストは、文化服装学院、文化ファッション大学院大学、連携校、通信教育の在校生を対象としたコンテスト。技術部門トワリストは技術とクリエイションを競うコンテストで、指定された課題デザイン画をもとにバックスタイルは各自で想像しシーティング作品を制作するというもの。12月7日の公開審査ではモデルが実態に着用してランウェイを歩く様子を審査員に審査していただいた後、受賞作品の発表が行われました。

※文中の数字は2021年度目録09077。

PAST RECORD

近年の活動実績

2019-2020年度

- 整町校舎竣工2周年記念講演 開催
- テクシる×金沢文化服装学院 作品制作
- 「かなざわストリート万博」ファッションショー 開催
- 越後の宮殿 衣装制作
- いしかわファッションフェスタファッションショー 開催
- ブランディア×金沢文化服装学院「#商業0プロジェクト」参加
- PALCUP関西服飾専門学校選抜「販売ロールプレイング」参加
- 産学連携プロジェクト新商品提案
- 第94回読売賞公開審査会 出品
- 香林坊大和×金沢文化服装学院ファッションショー 開催
- いしかわファッションフェスタファッションショー 開催
- MUJI PROJECT 展覧・ファッションショー 開催

ALLWAYS SUPPORT YOU

教員紹介

学院長からの メッセージ



学院長 村上 武史

成城大学副学長兼理事、(株)1F1ビジネススクールを率いる0601創設者、専攻講師、サンゴキアリア監修としてあり続けられる、一般教員、いしなファッション協会理事も務める。

本校は東京の文化服装学院連鎖校として1955年に開校しました。当時、女性が「洋服」や着物の「着付け」を学ぶ場として、私の祖父母が全沢でスタートしたのが原点です。その後、職業としての「洋服」を学ぶ学科(アパレル造形デザイン科)と、洋服の「販売」やショップの「経営」などを学ぶ学科(ファッションビジネス科)の2学科で構成される学校へと変遷を遂げ、現在に至ります。

私は本校を「全沢でファッションクリエイションやファッションビジネスを学べる場」として、また、「北旺(石川・富山・福井)のファッションに関わるヒトや情報が行き交うプラットフォーム」として、これからも永続的に発展させていきます。

石川・富山・福井の北旺3県は一大繊維産地です。旧くから続く伝統的な技術でオンリーワンのモノづくりを行っている企業もあれば、世界初の最先端技術でモノづくりを行っている企業もあります。また、社内スタッフ全員で「販売」という仕事を研究し、お客様満足度を追及し続けている企業や、知る人ぞ知る個人経営のセレクトショップがあります。糸、生地、企画・製造、染色、商品の企画・製造・販売の全てが実はこのエリアで完結します。こうした好環境下でファッションクリエイションやファッションビジネスを学ぶことはファッション業界の仕事に就くことを希望する皆さんにとって大変意義深いことだと思います。

また、本校が立地する全沢は武家文化が根付いた世界唯一の文化都市です。2015年3月の北旺新幹線開業もあって、よ

り多くのヒト・モノ・コト・情報が行き交う都市へと発展していくのだと思います。本校は「ファッション」や「アパレル」に関するこれらの集結地点であり、発着地点であることを目指し、「北旺」で「ファッション」「アパレル」と言えば全沢文化服装学院となれるよう活動を行っています。

このほか、2017年4月から、北旺唯一のファッションストリート「タテマチ」に新校舎を設けました。学校が、ビジネスの現場に寄り添うことで、在校生の皆さんが、机上の学びだけでなく、実践的な学びをより得易くするためです。ファッションが好きな皆さんやファッション業界の仕事に就くことを志す皆さんにとって、また、在校生・卒業生の皆さんにとって、そして、一人でも多くの優秀な人材を輩出する企業の皆さんにとって、魅力や価値のある教育機関であり続けられるよう、常に改革・改善を進めています。

ファッションは生活・文化、ファッションを学ぶということは服を通して、様々なヒトの個性や自分のそれとの違いを知ること、それを受け入れること、それに対して自分の考えを提案すること、互いの生き方を尊重し合うことだと思います。我々と共に、ファッションを学びながら、最高に美しい学生生活を送りましょう!!そして、皆さんの夢を実現させましょう!!

あなたの熱い思いを サポートします

本校の講師はそれぞれの業界で

現場経験を3年以上積んでいることが必須条件となっています。

専門分野だけではなくファッション業界や就職活動、

ちょっとした悩みでもいつでも相談に乗ります！

TEACHERS

専任講師・職員

藤井 聖子 / アパレルマーケティング、アパレルリソース
ニューオータニファッション専門学校、パターンメイキング
講師、その他、ファッションブティックで接客経験を積む。

村上 英輝 / ファッションスタイリング講師
国立学院 国立芸術専門学校専門学校美術科、
その他、東京のファッションデザイナーの経験がある。

日高 絵美 / アパレルマーケティング、デザインPC
公立沼津高等学校美術科、(株)無名にてCGMの
ネットショップ向けの電子企業・デザイナーも経験する。

原形 友紀 / ノールスワーク、縫製
アパレルメーカーにて17年間の縫製経験、3年12年の縫製
経験を持つ、スタッフ育成や実力の向上に尽力する。

柴田 さと / 縫製、デザイン
専門学校で縫製科の専任講師、縫製科から専門員まで縫製
技術の指導、縫製科の学生、縫製科の学生に縫製科の
生活を送る、キッズアパレルのデザイナーとして活躍。

山下 沙織 / 縫製
公立大分県立芸術専門学校、縫製科の専任講師、縫製科の
生活を送る、縫製科の学生に縫製科の生活を送る。

矢崎 萌子 / 縫製
公立大分県立芸術専門学校ファッションビジネス科、縫製科の
専任講師、縫製科の学生に縫製科の生活を送る。

村上 明子 / 縫製、縫製
公立沼津高等学校ファッション科、アパレルブランドにも
勤務、縫製科の学生に縫製科の生活を送る。

非常勤講師

普段は各自の専門職で活動しながら、本
校の学生の教育に携わっています。本校
ではここに紹介した講師以外にも各分野
で活躍するプロを招いています。

荒川 美恵子 / 縫製パターン、アパレルCAD
石井 伸たろう / リアルマーケティング歴史
加藤 みか / 立休館、メンズ
高松 隆博 / デザインPC
田所 美穂 / メイク
寺西 由緒 / デザインPC
水崎 有希 / アパレルマーケティング
濱田 麻利恵 / クリエイション、アパレルCAD講師
久田 香枝 / 色研
前 伊知郎 / カメラワーク
松田 重 / ネイル
ルーカス・リソイ / 美容師
渡部 大基 / ファッションビジネス講師

※お(敬称略)



MESSAGE FROM SUPPORTERS

講師からのメッセージ

夢を夢で終わらせないために

講師から受験生の皆さんへメッセージ。

金沢文化服装学院では現場の第一線で活躍するプロが、

現場に必要な専門知識・技術だけでなく、

生き方や仕事に対する姿勢などを本気で指導します。





プロフェッショナルな もの作りを目指して

荒川 美恵子

フリーランスパタンナー

実践 パターン講師

服ヤギコーポレーションに入社後、パタンナーとしてキャリアをスタート。同社退社後は大手有名メーカーと専属契約するなど第一線で活躍するフリーパタンナーに転身する。その後、同パタンナーが立ち上げた服ヤギコーポレーションアパレル事業部P.O.C = 縫製P.O.Cに所属。外注パタンナーとして多くのブランドのパターンを手がける。UNITEDARROWS、SHIPs、BEAMS、伊勢丹、ユニクロ、フランドルグループ等他多数。2007年より本校非常勤講師に就任。2012年より金沢大学短期大学部美術学科ファッション・スタイリストコースにて非常勤講師を務める。

その他、CM衣装製作、オーダーメイド、展示販売など

PICK UP

外注パタンナーとして、現在はニューヨークデビューされるメーカーさんの製作会場で主に取り扱っているところ。写真は某大手通販メーカーの試作品。



子供の頃から絵を描いたり、ものを作ることが好きだったような気がします。中学の家庭科の授業で、パジャマを作る課題があったのですが、配布された基本の型紙を少しアレンジして、デザイン性を持たせてオリジナルなものを作りました。高校では、体育祭の応援団用の衣装を、デザインし、型紙付きのものからアレンジして、作りました。出来上がって着用した時の嬉しさは今でも覚えています。将来何になりたいか、選択肢が狭つかもっているかと悩んでいたころ、たまたまパタンナーという職種を志すの資料で初めて知り、その中の「服の設計図」という言葉に興味深さを感じました。応援団の衣装は同じデザインでも、着る人、作る人で、それぞれ少しずつ違って、うまくいった点、もう少しこうすれば、という反省点が、「設計図」という観点から浮き彫りになり、そこで初めて服作りへの関心が生まれたのです。やはり、興味があること、好きなことを仕事にしたいと思い、専門分野に特化した専門学校への進学を決めました。

3年間の専門学校生活を終えて、卒業後は、メーカー会社に就職が叶い、服作りのノウハウを習得するため日々パタンナーとして経験を積んでいきました。その頃出会った恩師から、パターン(型紙)の重要性、奥深さ、プロとしての仕事の仕方、考え方なども学び、その節のもと、外注パタンナーメーカーとして、有名セレクトショップ、大手百貨店などで取り扱われる商品を多数手がけ、キャリアを積み重ねてきました。今はプロとしての知識、技術、感覚をもってどんなジャンルのものにも対応出来ると自負しています。これらの経験から、私の根本となる指導目標は、「好きなこと」を「プロフェッショナルな仕事」に出来る人材を育てることだと思っています。

今の時代、レシピ本や、洋服専門YouTube、SNSなどから、情報が簡単に得られるので、独学でも洋服は作れるかもしれませんが、しかし、プロフェッショナルなものは、もっと奥深く、多くの人に伝わる説得力=魅力あるものが求められます。着る人の体型、骨格、年齢層などを考慮しつつ、ブランド性、テーマ性など、イメージの多様性に対応してこそ、仕事の幅も広がりレベルの高いものが生まれるのです。

私の授業では、パターンメイキングの技術を学びながら、ものを見極める観察力、想像力、平面的から立体美を生み出す感性を磨き、プロフェッショナルなもの作りを目指します。

最後に、

ここ北陸には、昔から伝統工芸をはじめ、織物産業など、一貫のものづくりが盛んで、豊かな技術と感性、こだわりのものづくり精神がしっかりと根付いています。それは人と人との繋がりを大切に、四季折々の自然の美を身近に感じ、それを生活に活かすという精神が静々と受け継がれてきた「文化」ならではのものです。この「文化」という空気感を感じながら、たくさんのお話をし、技術を学び、感性を磨いて下さい。





写真撮影を通して 表現の可能性を広げる

前 伊知郎

+FACTORY / 代表

カメラワーク講師

1979年生まれ。1997年渡米、美国立ノッティンガムトレント大学で現代美術を専攻。

コンテンポラリーダンスやパフォーマンスを専攻しながら、同時に映像や写真を在学中に学ぶ。卒業後はイギリスやドイツで舞台の仕事に従事する。

帰国後は広大な美術関係で映像や写真を軸とした仕事をしながら、国内外で定期的に自身の作品制作や展示を行う。

近年はG20サミットやTICAD7に関連会社ビデオグラフィアー・フォトグラフィアーとして参加。またCMディレクターとして企業の広告や啓発用の観光促進WEBムービー制作など多岐の場を占めている。

「カメラワーク」×「ファッション」。現代において、写真を撮るという行為はとても身近なものになっています。撮りたいと思った瞬間に構図を取り出してさっと撮影ができる。写真を手のひらの中に収める感覚で、思い出した時にも、さっと見ることができる。そこに実物がなくても、写真としておさめられたモノやヒトや風景は、忠実にそして随分、第三者にフォルムや雰囲気さらには印象までもを伝えることが出来るのです。どれだけ素晴らしい作品を作ったとしても、それをうまく相手に説明できなければ、作品の魅力は伝えることは出来ません。もちろん直接見せることが一番なのですが、常に作品をカバンに入れて持ち歩くなんて不可能に近いですね。

写真を使って作品を相手にわかりやすく伝える。もちろんそれだけではなく、「カメラで撮影する」という行為を通して、洋服やモデルの魅力を最大限に引き出すということをカメラワークの授業では目的としています。初歩的なカメラの使い方から始まり、プロのカメラマンのようにスタジオでストロボを使った本格的なモデル撮影まで、頭を巡らせて行っています。そして撮影の方法を学ぶことで、洋服をさらに魅力的に写すことが出来るのです。

例えば、モデルに動いてもらいながら写真を撮ることで、生地の手触りや色がより伝わりやすくなったり、光の加減で素材の透明感が増したり、わざと陰影を出して、洋服の立体感を強調して見せることが出来たり。時には、想像もしていなかった一瞬の表情をカメラが捉えていて、その写真に思わず驚くことさえあります。つまり写真というツールには、ただ単に作品を記録するという部分だけではなく、洋服の持つ特徴をさらに際立たせたり、作品の背景にあるコンセプトやテーマを強調させることも出来るのです。そうすることで、表現の可能性はさらに広がっている、写真撮影はとても楽しいものになっていくと思います。

金沢文化服装学院に入学する皆さんには、ファッションを通して楽しむ喜びを大切にして、色々なことにどんどん挑戦してもらいたいです。そしてカメラワークの授業が、それを実現するひとつのサポートになればと考えます。





常に現状の外側に踏み出す

渡部 大基

H.watanabe fashion Institute / 代表

ファッションビジネス概論講師

2003年 株式会社三越百貨店入社、銀座店バイヤー、銀座山久増橋交差点プロジェクト等に従事。

2012年 株式会社Uへ転職、商品本部マーチャンダイザーに従事。

2017年 ファッションやアートを軸とした新たなコミュニティ創造の場「HARMONIC」の運営に従事。

日本のファッションビジネスは成熟したと言われて久しい今日、ファッションに限らず日本の産業構造そのものが成熟期を深めています。そうした状況・前提を踏まえて、ファッションを通じて自己実現を図る、或いは成功を収めていくためには何が必要なのか、こういったことを常に考え、学習し現場の一環でも実行をしてきました。重厚長大な企業活動に支えられ、大量生産・大量消費の利便性を享受しながら、いかに個人としての幸せを実現していくか、こういった視点が今後より重要になってくると感じています。法政大学・水野和夫教授の本にもあるように「より速く、より深く、より合理的に」から「よりゆっくり、より近く、より寛容へ」と言うように私たちの共通認識の変化が求められる時代なのかもしれません。更には、一極に偏るのではなくいかにバランスをとっているか、そういった「センス」こそがより大事な視点であると思います。自分も含めた周りの人々、さらには社会がより幸せになるためにファッションと言う一つのプラットフォームを使って思考し、実現させていく。そう言ったことを一層に考え・学び・社会に大きな付加価値を生み出していく仲間を作っていきたいと思っています。

ハルモニーはそれを実現していくための一つの装置です。近い将来、日本のファッションビジネスにおいてハルモニーが新しいスタート地点だったなと振り返る日が来ることを期待しています。これからカナブンに入学される方はもちろん、ファッションやアートに関心のある人々が集う輪郭点になっていきます。

※ハルモニーとは—

金沢文化振興学院が運営する文化交流施設。

ファッション産業都市「金沢市」のランドマークの一つとして、ファッション / アートの分野で活躍している人々、また、その分野での活躍を目指す人々の交流の場と機会を創り、新しいアイデアや新しい作品・商品、人材を創出・輩出していく拠点を目指します。



MESSAGE FROM GRADUATES

卒業生からのメッセージ

第一線で活躍する卒業生を紹介

卒業生から

受験生の皆さんへメッセージ。

金沢文化服装学院で学んだことや思い出、

社会人になって

学んだことなどが盛りだくさん！



橋田 絵梨香

～vintage&select～
CORPO CIRCUS/代表

ファッションビジネス科 2004年度卒
石川県立工業高等学校出身

カナパンを卒業後、25歳の時にお店をオープンしそれから10数年が経ちました。学生時代に授業を通してファッション業界のリアルを感じられたこと、そして、ファッションが大好きな気持ちを共有できる友人ができたことは私の大きな財産になっています。世界の情勢、日々アップデートに伴いファッション業界もデジタル、アナログ双方の良し悪しを感じる時代です。ただどんな時代になってもファッションは人を動かしにする素晴らしいものだと思っていて言えます。「好き」のパワーは強いです。ファッションが好き。そのワクワクの糧を大切に学校生活を楽しんで下さい。



和乎 隆

CORPO CIRCUS/スタッフ

アパレル造形デザイン科 2015年度卒
富山県立入善高等学校出身

金沢文化服装学院での出会いや学びは、自分を大きく成長させるものでした。間違いない今の自分の土台となっています。

卒業後、企画職を経て、現在はレディース古着を扱うアパレルショップで働いています。現場で生の反応を感じられることは大きなやりがいになり、お客様に喜んでいただけたときの喜びは忘れません。色々なことに挑戦し更に成長していきたいです。

改めて、私は服が好きです。

好きという気持ちには、自分を動かす1番の原動力だと思います。その気持ちを胸に、学び楽しんでいきましょう！同じ気持ちを持つ者として応援しています。



CORPO CIRCUS

海外買い付けのヴィンテージアイテムに加え、古着のリメイクアイテムや古着に合わせるためのベージュ系「NEW USED」をテーマとしたオリジナルウェアを展開している。

石川県金沢市東馬町35 中目ビル1-3
TEL. 076-255-2091
営業時間 / 12:00 ~ 20:00
休休日 / 水曜日





清水 早穂

オーナー / 販売員、バイヤー
team SHINGO / 責任者

ファッションビジネス科 2010年度卒
石川県立野々市明倫高等学校出身

卒業後、今の会社に着めて10年が経ちました。販売スタッフとして店舗に立ちながら、仕入れや企画など全ての業務をスタッフと協力しながら行っています。自分で企画したイベントを楽しみに足を運んで下さるお客様の姿を見ると、この仕事を選んで良かったなと感じます。最近では在校生がお店に遊びに来てくれることも増え、店舗で学校生活のお話を聞くことが楽しみのひとつとなりました。

昨年は新校舎のレンタルスペースHARMONIEにて、当時の同級生とイベント企画をさせていただきました。互いの得意分野を活かし分担しながら準備を進めるチームワークも、学生時代にみんなで作り上げたファッションショーやブランド企画の経験から増えたものだと思います。その過程でできた信頼関係があったからこそ、別業種が出てきた時も意見をぶつけ合い最善の策を出すことができました。卒業後もこうした活動を通して多くのことを学び、経験させていただいています。

金沢文化服装学院での出会いや学びは、社会に出てからもずっと大きな力になると思います。私が何かをやりたいと思った時、力になったのは学生時代に身につけた自分の強みと仲間でした。どんなことからも学びはあります。未来の自分へのギフトだと思って、全力でどんなことにも取り組んで下さい。



森行 守

副ディナーパレーション / 生産管理

アパレル造形デザイン科 2007年度卒
社会人経験者

私は県内の高校を卒業後、異業種勤務を転々とした後、金沢文化服装学院に入学しました。入学のきっかけとなったのは、洋服が好きで友達と作った服がたまたま他の友人に褒められたことでした。学生時代はパターンが苦手な輪を描いても微妙に一回の私は物の学生たちと夜通し通んだり、バイトに際を出し授業に遅刻したりと相にいう苦学生でした。そんな私が学生時代に培ったのはコミュニケーション力と行動力だと思います。在学中は年下のクラスメイトと同じ授業を受け、苦楽を共にし自然と身に付けていったものでした。仕事をする際にコミュニケーションはとても大切です。わたしは在学中も含め今現在そういった人間関係には恵まれているのだと感じています。

将来したいことや夢を持っている学生、または何がしたいかわからない学生も、自己分析をして自分の幅を広げて下さい。私も今まで様々な業務をしてきて結果的に通回りになったのかもしれませんが、その分色々な困難や物事を乗り越え、有難く共有できているので無駄なことはいっつもありませんでした。「百聞は一見に如かず」でやってみて不向きだと感じれば方向転換すれば良いと思います。何事にも体当たりでポジティブに頑張ってください！



team SHINGOとは

金沢文化服装学院ファッションビジネス科卒業生3人によって結成。ファッション、音楽、フードなど、ジャンル問わず北陸で出会ったヒト、モノ、コトを愛用している。

2018年春に「無言の布」、秋には「ときめき色の布」を企画・運営し、成功を収める。





北 遥香

特ハニーズ専攻/企画

アパレル造形デザイン科 2020年度卒
石川県立小松商業高等学校出身

私はファッションについて詳しいわけでもなく、勉強すらしたこともありませんでしたが、洋服が好きだからという理由で金沢文化服装学院に入学を決めました。まさに0からのスタートでしたが、同じ気持ちを持つ仲間や近い距離で接してくれる先生方のおかげで充実した3年間を過ごすことが出来ました。学生時代、複数の活動を同時期に並行して行うことが多かったため、計画的に物事に取り組むことが苦手だった私でも、卒業する頃には常に優先順位を考えて行動することができるようになりました。日々の仕事の中でも計画的に物事を進めることの大切さを実感しています。現在はCG(コンピューターグラフィック)制作という仕事に携わり、洋服の柄やロゴを作成しています。まだ慣れないことも多々ありますが、自分が関わったものが形になり実際に店頭で販売されている光景を見て大きなやりがいと喜びを感じています！自分の好きなファッションにこうして関わることができ、とてもうれしく思います。これからも学ぶことを怠らず、更に努力し続けていきたいです。皆さんも「好き」という原動力を大切に、いろんなことにチャレンジしてみてください。応援しています！



岩城 海星

中伝毛織専攻/企画部

ファッションビジネス科 2019年度卒
石川県立奥野高等学校出身

私が金沢文化服装学院に入学した理由は、服が好きで服のことについてもっと知りたいと思ったことと、服がどのようにして作られているのかを知り、ファッションの面白さを多くの人に伝えたいと思ったことがきっかけです。就職活動をする中で、服を作る上で必要な「テキスタイル」に興味があり、日本でウールを取り扱う尾州産地にある中伝毛織に企画として入社することができました。尾州産地には糸染め、製糸、最後の仕上げをする整理工場などが密集していて分業体制が成り立っています。その中で私の仕事は、アパレル企業から依頼され、色案・柄案などをし、製品見本を製作することと、自分たちでトレンドを分析して開発した生地をアパレル企業に提案するという2つが主な仕事内容です。ウールにはフェルト化するという特徴があり、フェルト化させるだけでも縮ったばかりの生地とは異なり、生地に厚みが出てふんわり感じられます。組み合わせる素材、色の見え方、柄、仕上げ工程など組み合わせるとまだまだ見たことがない生地がたくさんあり、毎日新しい発見があってとても充実しています。

これからファッション業界に入ろうとしている皆さんに伝えたいことは、自分が気になったことがあったら人それぞれ感じ方が違うので、インターネットなどの情報に頼らず、実際に産地を見学をしに行くなど、自分の目で見て、感じて欲しいということです。これからのファッション業界を一層盛り上げて行きましょう！



FACILITIES

施設紹介

Kiyokawamachi

清川町 校舎

街中にいながら豊かな四季と
自然を感じることができる
厚川のほとりで

校舎の目の前を流れる厚川は、学生たちにとって
校庭のような存在です。街中にいながら河川敷の
木々や風により、春夏秋冬の季節や自然を感じる
ことができます。ランチや撮影など様々なシー
ン、また学校生活の思い出の舞台となっています。
校内には学生が余裕を持って作業に集中でき
るよう、作業スペースやミシン、パソコンなどの
機材を用意しています。

清川町校舎は本校本部建物です。1955年の創
設は広坂に開校。その後、1970年に清川町に校
舎を新設。2018年夏にはリノベーションを行い、
さらに使いやすくスタイリッシュになりました。現
在はアパレル造形デザイン科の学生が学ぶ校舎と
なっています。





1【各科実習室】工業用ミシンやロックミシン、工業用バキュームアイロンを設備、完成度の高い作品作りを学びます。

2【パソコンルーム】フォトショップやイラストレーター、パワーポイントなど各種ソフトを幅広く演習に使用。企業の求人検索やエントリーなど、就職活動にも有用である機能が揃っています。また、最新CADシステムでのパターン作成やグレーディング(サイズ展開)、マーキング、縫製仕様書作成などを演習を通して学びます。なお、昼食時間はいつでも自由に使用できます。

3【図書スペース】最新のファッション雑誌から6年代物のデザイナーの資料など多量多様揃っています。デザインソースなどを参考にするために、いつでも自由に使用できます。中には切り抜き可能な資料もあります。



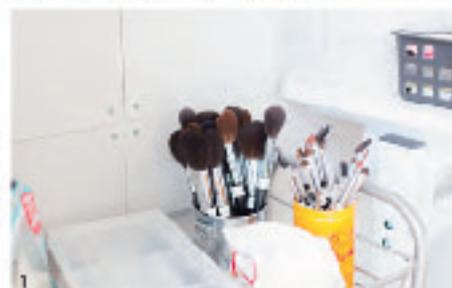
Tatemachi

原町 教会

人と情報が溢れるこの街は、
ファッションistaの感性を
刺激するワクワクが溢れている

まちなか立地を生かしたカリキュラムを積極的に導入し、より実践的なファッションビジネス教育を行っています。ミシンやアイロンを揃えたクリエイションスペース、ディスプレイや販売の模擬演習ができるバーチャルショップスペース等を取り揃えた、ファッションに特化した教室内が、校舎3階以上に広がります。

1、2階は経済産業省より、平成28年度まちなか商業活性化支援事業の認定と、過去、ファッション産業都市宣言を行った金沢市の支援を受け、「ファッション/アート分野に関わる人の交流拠点」HARMONIE(ハルモニー)として、両分野での活躍や起業を目指す若者を中心に、多くの人々に活用していただける施設となっています。



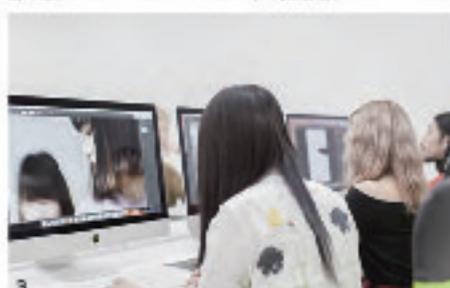
1【専科実習室】工業用ミシンやロックミシン、工業用バキュームアイロンを設置。完成度の高い作品制作に専念できる広い作業台や設備を備え、開放感のあるフロアになっています。



2【共有スペース】学年やクラスを問わず創作活動に専念できるよう、共有スペースを設けています。場所に関わらずフレキシブルに活動できるのも堅可校舎の強みです。



3【パソコンルーム】オフィス・グラフィックソフトなど各種幅広く演習に使用。快適に作業できるよう、最新の機材を用意しています。就職活動などにも利用できる環境が整っています。なお、空き時間はいつでも自由に使用できます。



4【フォースタジオ】カメラの演習や作品の撮影などに使用し、雑誌やカタログのスタイル撮影を実習します。

LOCAL STUDY HERE

地域について

金沢で学べるという価値

石川・富山・福井の北陸3県は一大繊維産地です。

特に合成繊維織物生産量は

全国シェアの約60%を占めている他、

燃糸・製織・製編・染色加工などの各工程において、

高い技術力を有する企業が

集積している点が特徴の産地です。

旧くから続く伝統的な技術でオンリーワンの

モノづくりを行っている企業もあれば、

世界ナンバーワンの最先端技術で

それを行っている企業もあります。



アパレルメーカー

年4回の展示会ではオリジナル企画の製品にプリント加工や様々なテクニックを詰め込み、県外の百貨店やセレクトショップに提案を行っている。また、地元のテキスタイルメーカーとも共同で生地の開発を行うなど、国内有数の繊維産地の発展を最大限に活かし、他ではマネができない商品開発を行っている。自らの持つ強みとそれを活かせる環境で、新たなモノづくりが生まれるきっかけを創出することで、他がマネできない「株式会社カメダ」のファッションが作り上げられていく。

「株式会社カメダ」(石川県白山市)



伝統工芸

友禅染を考案した宮崎友禅斎が加賀へ移り住み、加賀のお国染めであった「物染め」を取り入れたことで加賀友禅が確立されていったと伝えられている。「京友禅が色鮮やかで金箔を用いるなど種々様であるのに対し、加賀友禅は落ち着いた色調のある写実的な草花模様を中心とした輪回調の柄を特徴としている。加賀友禅は伝統的な技術を継承しながらも時代に合った作品づくりが必要である。」と三代目 毎田 仁嗣氏は語る。

加賀友禅「毎田染工芸」(石川県金沢市)



縫製

縫製企業からパッケージングまで一貫体制のものづくりを行う縫製工場。「縫づくりとは布を使って立体を創造すること。出来上がったものはシルエツトが綺麗であり、着心地が良く、着脱が容易なことは勿論だが、デザイナー様のイメージや企画コンセプトと合致していることがとても重要。縫づくりの原点はコミュニケーションにあり」と考え、お客様のご意見を聞くことに全力を注いでいる」と語った。

「SPP株式会社」(石川県小松市)



撚糸

靴下や手袋、ストッキングに使われるカパーリングヤーンを製造している。これからは現場作業の自動化を目指し、自社製品の販売と営業に力を入れていきたい。そのためには製品のデザインやパッケージのデザインにも力を注ぎ、より魅力的に市場（マーケット）に提案をしていく必要がある。

「株式会社 小山カパーリング」（石川県かほく市）



絹織物

織物産物の起源は、戦国時代末期の大正時代とされており、江戸時代には富山県の越前市と石川県の小坂市で織られた絹織物が「加賀絹」とされ、織物の絹織物業の最盛期には物の至る所から織織りの音が聞こえて来たと言う。現在、富山県で「しげ絹」を製造しているのは唯一「松井織業」のみ。

しげ絹「松井織業」（富山県越前市）



細幅織物

ゴム入り経緯織物を生産しており、代表的なものとしてはパジャマやトレーニングウェアのウエスト部分に使われる平ゴムがある。下着だけでなく幅広い自社の技術を切り取り形で提案できるデザインが求められる。作るだけでなくユニークな見せ方にも力を注いでいきたい。

「株式会社 二口製靴」（石川県かほく市）



ニット

国内外のコレクションブランドからも信頼を置かれるニットメーカー。「相模は小さくても、品質への追求はこれからも徹底していきたい。社員の縫製技術の唯一化を目指し、弊社の技術を元にデザイナーにデザインの提案ができる社員を育てていきたい。更には自社での商品企画を将来的に行っていきたい。」と語ってくれた。

「株式会社クマモトニット」（石川県羽咋市）



染色加工（ポリエステル）

ポリエステル糸への染色（先染め）と特殊加工を行っている。染色可能な糸種は幅広く対応することを可能にしており、ロットが異なるリピート発注に対して高い色調再現性を実現し、今までに積み上げた色数は3万色を超えている。「お客様の急な要望にも小回りを利かせ、対応できるのが強み。」

「株式会社 シコー」（石川県白山市）



ジャカード織り

シャトル織機を使ったジャカード織の織りものを中心に、ネクタイ、スカーフ、マフラー、ハンカチなどを製造している。生地は負担を掛けずゆっくりと織られるため、仕上がりがふっくらとして、模様も凹凸感のある立体的なものになり、コンピューター制御で合理的に作られる生地にはない温かみのある生地ができて上がる。生産効率を求めた方法では作ることができない組み合わせの生地を自社では作ることができる。

「株式会社 マイテックス」（石川県能美市）

LOCATION ロケーション



FULL OF SERENDIPITY

金沢の中心街、犀川のほとりで

ファッションを学ぶために大切にしたいことの1つに、学校立地があります。

本校は兼六園や武家屋敷などの古い街並みと、

現代アートを隣近に感じられる金沢21世紀美術館などの施設が数多く存在する

世界随一の文化都市“金沢”にあるということ。

また、金沢の中心街、ファッションビルや個性的なショップが建ち並ぶ

タテマチ・香林坊に非常に近いという魅力的な環境に校舎を置いています。

人と情報が溢れ、最新のトレンドを発信する華やかなこの街は

感性を刺激するワクワクが溢れているもう1つのスタディーゾーンです。

ACCESS アクセス

Kiyokawamachi

清川町校舎



アクセス

1. 全沢駅第六出口
バスターミナル①②③いずれかに乗車約13分。
全劇/パシオン前「片町」バス停下車。徒歩3分。
2. 北陸鉄道石川線線前占町駅より徒歩7分。

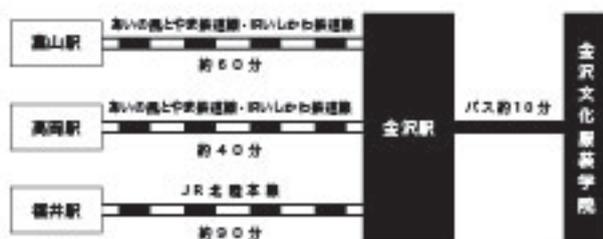
Tatamachi

堅町校舎



アクセス

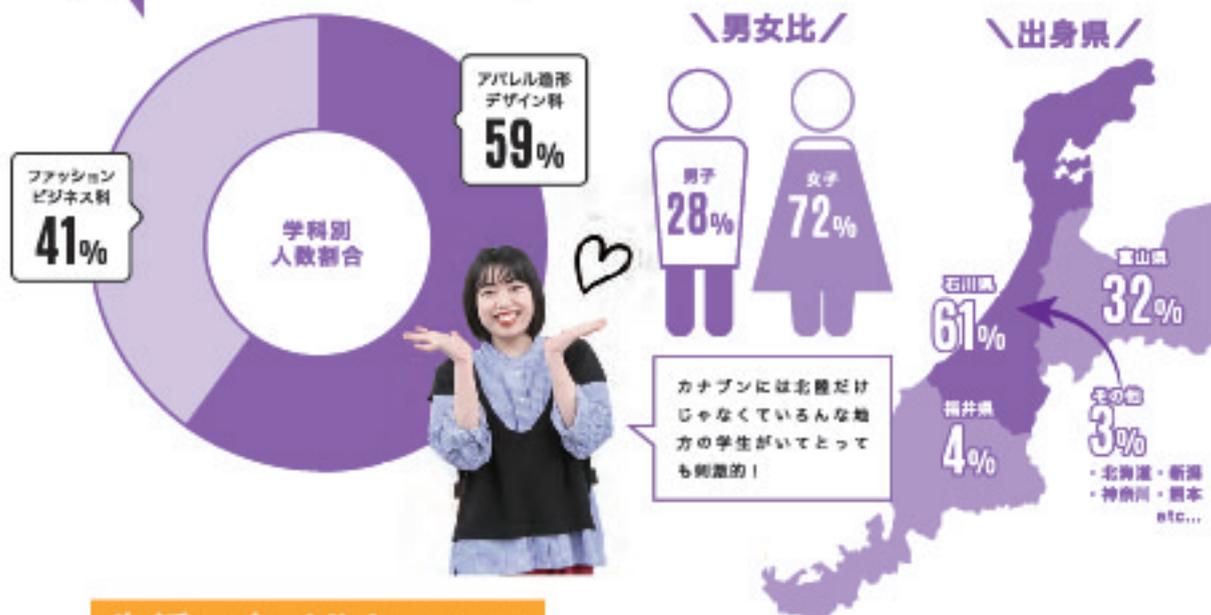
1. 全沢駅第六出口
バスターミナル①②③いずれかに乗車約10分。
香林坊大和町「香林坊」バス停下車。徒歩5分。
2. 北陸鉄道石川線線前占町駅より徒歩15分。



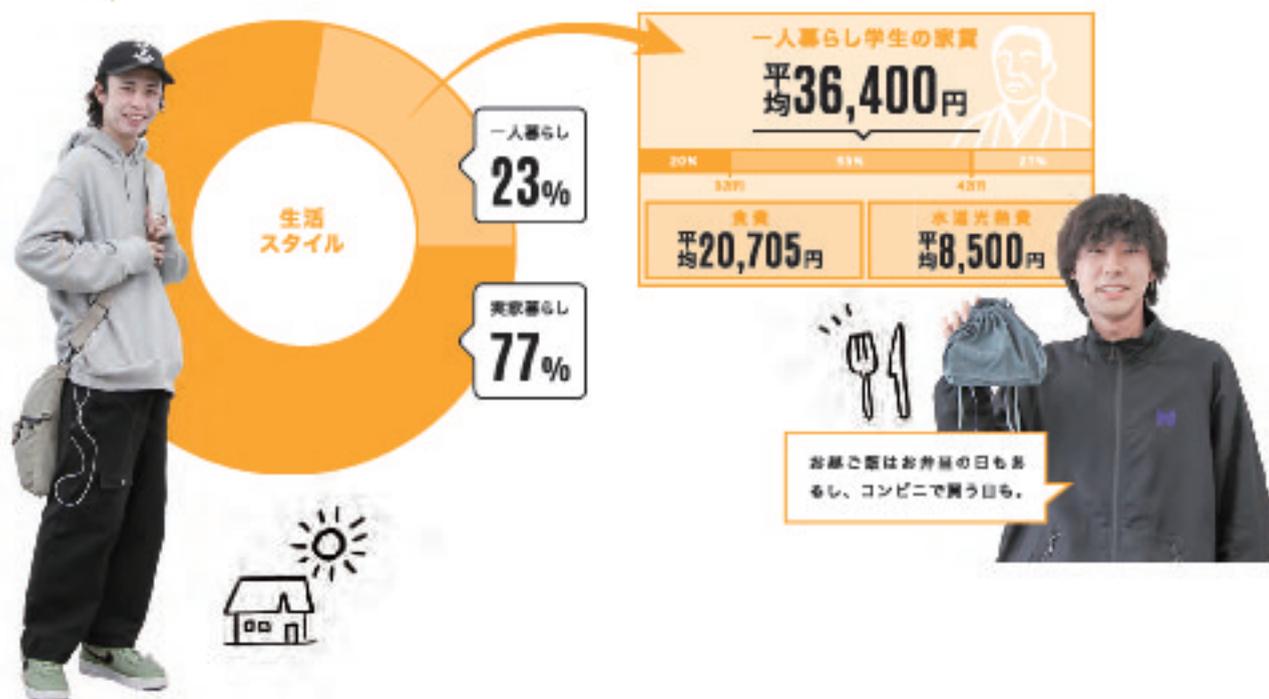
KANABUN LIFE STYLE カナブンライフスタイル

カナブンのライフスタイルを大調査！！

カナブン生について



生活スタイルについて



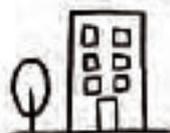
通学について

＼実家暮らし派／



通学中はSNSを見ながら
服作りの参考になるもの
を探しています！

＼一人暮らし派／



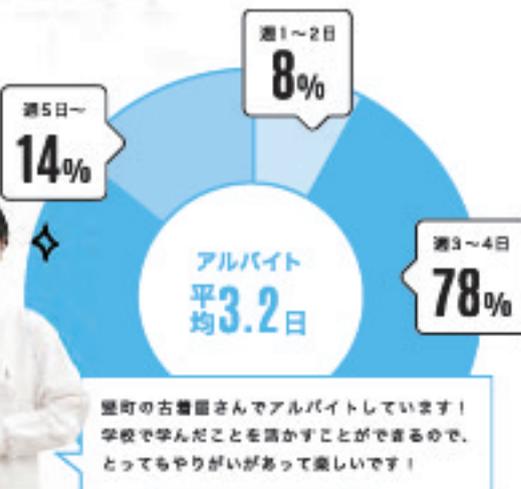
アルバイトしてる？

＼してる！／

84%

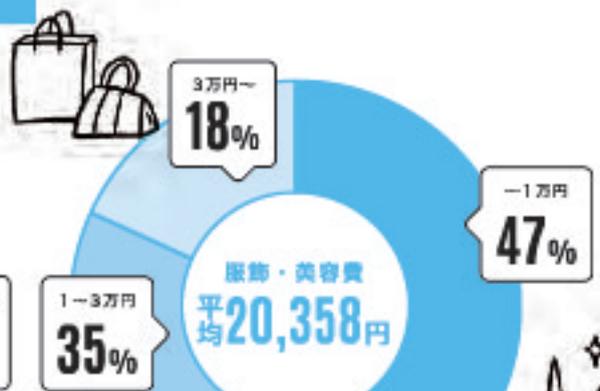
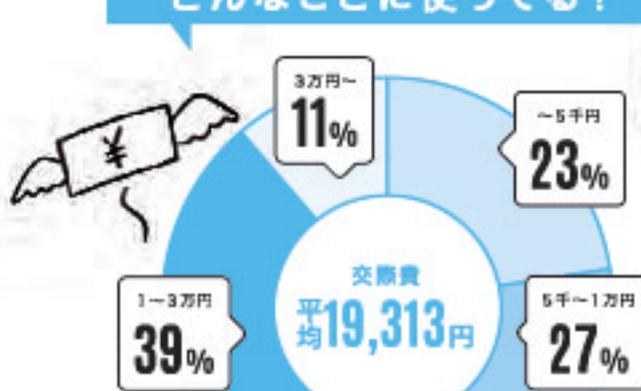
1位 飲食系

2位 アパレル
3位 雑貨



豊町の古巻田さんでアルバイトしています！
学校で学んだことを活かすことができるので、
とってもやりがいがあって楽しいです！

どんなことに使ってる？



学校の誘いとクラスメイトと遊びに行ったり、買い物に行ったりしてます！イベント参加は打ち上げなんかもして、クラス内もとても仲良く！



洋服は毎月買っています！地元のお好きなお店の店員さんと仲良くなっているいる教えてもらってます。



美容院へは月に1回行って髪色を変えています！洋服も大好きだけどメイクをするのも大好き！リップなんかはつい買ってしまいます。

Q&A

カナブンについての疑問や不安を解決！
今までに多く寄せられた質問を大公開します！

Q 学校はどんな雰囲気ですか？

明るく元気な学生が多いです！

在校生にはいろいろなタイプの学生がいますが、学年、学科の壁を越えてみんなとても仲が良く、アットホームな雰囲気ですよ！オープンキャンパスには在校生や先生たちも参加するので、学校の雰囲気を知る絶好のチャンス！ぜひ参加して確かめて下さい♪



Q 今までミシンを触ったことがないのですが、大丈夫ですか？

大丈夫です！カナブンに入学するほとんどの学生が今までミシンを触ったことがない人ばかり！ミシンはもちろん、アイロンのかけ方や縫製道具の使い方まで先生方が丁寧に教えてくれますよ。



Q 入試はありますか？

いいえ、基本的には書類選考です。

ただし、オープンキャンパスへの参加が必須となっております。参加がない場合は面接を行います。詳しくは募集要項をご覧ください。



Q どの学科にしようか迷っています。

学科によって将来の職業が変わってきます。アパレル造形デザイン科はデザイナーやパタンナー、縫製、営業、ファッションビジネス科はファッションアドバイザーやスタイリストを目指す人がほとんどです。オープンキャンパスではそんな悩みも先生や先輩たちが相談に乗ってくれますよ。一緒に解決しましょう！

Q 東京や大阪で就職したいと思っていますが、可能ですか？

もちろん可能です！

卒業生も東京、大阪、名古屋など首都圏で就職している実績が多数あります。先生方にも首都圏で経験を積んだ方が多くいますので、首都圏での生活やお仕事のこと、なんでも聞けますよ。詳しくはP25~30をご覧ください。



Q 奨学金について教えてください！

国の貸与型奨学金を高校で予約することもできますし、本校は「高等教育の修学支援新制度」の対象校に認定されているので、給付型奨学金の申し込みも可能になりました。

また、カナブンにはBUNKA奨学生制度という独自の奨学金制度があります。これは前期の成績や出席状況、家庭の経済状況などを考慮し、後期の授業料を減免するという制度です。詳しくは募集要項をご覧ください。気になることがあればお気軽に学校までお問い合わせ下さい。経済的な理由で進学を諦める必要はありません。皆さんの夢を応援します！



COVER

表紙採用衣装

UP DATE

表紙でモデルが着用している衣装は、アパレル造形デザイン科3名(写真左より渡辺翔平、小川隆基、高倉大樹)によるチーム「UD」の作品です。古いものに何か要素が加わり、より良い新しいものへと変わる という意味から「自分自身の成長、更新のためには、今までの自分に、取り巻く環境や人と共に、研鑽しあうことが大切」という解釈のもと、互いの良い部分を掛け合わせて、支え合っていこう というメッセージを今回のコレクションに込めています。



SNS 最新情報をチェック!



Follow
 Instagram

どんな学生がいるの?
どんなことを学んでいるの?
イベントの告知 etc...
最新情報がGETできます!
@kanazawa_bunka で検索!



Check!  YouTube

学生のスクールライフにスポットを当てた情報番組「KANABUN CHANNEL」を配信しています!チャンネル登録して下さいね!



OPEN CAMPUS 最新情報をチェック!

BUNKAの春フェス

プチ体験や学生のPOP UP SHOPを楽しもう!

体験入学会

金沢文化服装学院の授業が一足先に体験できる!

学校説明会

アドバイザーが学科特性、カリキュラム内容を詳しくご説明します!

サマースクール

ファッションショーが魅力のスペシャルイベント!!

キャンパスツアー

ふたつのキャンパスが一度に見られるチャンス!

オンライン学校説明会

スマホやパソコンからいつでもどこでも学校説明を聞くことができちゃう!!

詳しくはWEBをご覧ください!

WEBではオープンキャンパスの詳しい日程や内容が確認できます!参加希望の方はWEBからお申し込み下さい!!ご不明な点は電話やメールにてお気軽にお問い合わせ下さい。

電話 076-242-2330

メール info@kanabun.ac.jp

ウェブ www.kanabun.ac.jp





モデル
伊藤 賢
梶原 古那美
新田 健人
柴田 幸伸
丹白 蓮己
石本 美空

デザイナー
渡部 真平
小川 健哉
高倉 大聖
(UD)



TRUE PRIDE

あなたらしく 生きるためのプライド

「大好き」を学ぶことに決めた。

あとは自分が努力するだけでいい。

誰も自分にはなれないし、自分は誰にも似ていない。

自分は自分。

だから自分に責任を持つ。

「どんな自分になりたいのか」

「いつ動き出すのか」

と自分自身に聞いてみた。

答えは明白、

「今やらなくては未来の自分が見えてこない」と。

人生は自分で描くもの。

だから自分にプライドが持てる未来、

一生懸命ガンバる覚悟ができる。

あなたが、あなたらしく生きるためのプライド

それは、好きな世界へ跳ぶための翼です。

金沢文化服装学院は一生懸命ガンバる

覚悟のできたあなたを待っています。